

## [報告]

## SC14 報告

東北大学サイバーサイエンスセンター 小松一彦

2014年11月16日～21日に米国ルイジアナ州ニューオーリンズ市において International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis (通称SC)が開催されました。SCはスーパーコンピューティングとその関連技術に関する世界最大の国際会議であり、1988年から年に1回開催されており、今回で26回目を迎えます。今回、SC14に参加し、サイバーサイエンスセンターにおける研究活動を発表してきましたので、その報告をいたします。

SCは技術論文が発表される本会議と、大学・研究所・企業等が最新の研究成果・製品を発表する展示会から構成されています。サイバーサイエンスセンターは、流体科学研究所、金属材料研究所、そして、今年から新たに参加に加わった東北メディカル・メガバンク機構と連携し、スーパーコンピューティングに関する活動について、東北大学として展示会へ参加いたしました。展示ブースでは、サイバーサイエンスセンターのスパコンシステムの紹介や次期システムの紹介をはじめ、2.5・3次元積層技術を活用したプロセッサに関する研究やスーパーコンピュータを容易に使うためのシステムソフトウェアに関する研究など、次世代の高性能計算基盤技術に関する最新の研究成果の展示や発表を行いました。また、CREST「ポストペタスケール高性能計算に資するシステムソフトウェア技術の創出」展示ブースにおいても、スパコン研究部の研究成果の一部を展示いたしました。17～20日の4日間の展示会期間中、展示ブースへの訪問者は300名以上にのぼり、展示ブースでのプレゼンテーションなどを通じて、活発な議論・情報交換を行うことができました。

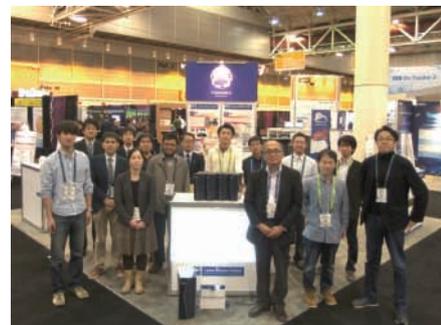
今年のSC15は11月15日～20日に米国テキサス州オースティン市で行われる予定です。



SC14の会場



展示の様子



東北大学展示スタッフ